

## 夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長年にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

新しい年を迎え、夢のつばさでも学生代表が交代時期を迎えて、フレッシュな活動の様子をお伝えしたいと張り切っておりましたが、またも変異株が出現し、今が頑張りどころと思いつつも、終わりの見えない長さにくじけそうになります。皆さまお変わりなくいらっしゃいますでしょうか。



そんな中でも大学生やOB・OGたちが、コロナの感染拡大が一時落ち着きを見せた昨年12月、クリスマスのプレゼントを子どもたちに手渡ししに、東北3県に日帰りで行ってまいりました。例年の冬キャンプで、子どもたちもスタッフも楽しみにしているのはクリスマス会です。東日本大震災で被災した子どもたちを受け入れ、一緒に時間を過ごす活動を考えたとき、一番先に思ったのは、「保護者を亡くし、家や家財を失い、あるいは育った土地を離れて新しい環境に生活する中で、周囲のクリスマスの華やかさがひととき寂しさを募らせるのではないだろうか」ということでした。子どもたちに、「一緒に集う仲間がいる」「ともにクリスマスの催しや音楽会を楽しむ場がある」と感じてほしいと考えて、キャンプ日程を調整し、さまざまな企画を用意してきました。



「この冬のキャンプができない代わりに、せめてクリスマスプレゼントを手渡しに行けないだろうか」と社会人スタッフたちが思い悩んでいると、幸いにもコロナデルタ株の感染が下火になってきました。学生スタッフに相談すると皆、色めき立ちました。ワクチン接種を2回、インフルエンザワクチンも接種すること、スタッフは少人数で、ごく短時間でプレゼントを渡して帰ること、飲食しないこと、うれしくてはしゃぐような企画にしないこと、などと相談して、クリスマス企画が開始しました。いつも子どもたちにクリスマスプレゼントをご寄付くださる(株)サンリオ様にご連絡をして、今回も快くご用意いただけることになりました。

12月11日、厳重な感染対策をして、学生とOB・OGの2名ずつからなる3チームが、郡山、仙台、盛岡の市民センターなどで、子どもたちと2年ぶりの対面行事を行いました。30分程度というごく短時間で、大学生たちも時間配分に苦労しつつも楽しい活動になったようです。子どもたちも久しぶりに、子ども同士やスタッフと出会って楽しそうでした。東北3会場と、東京の学生や社会人スタッフともZoomをつないで、ほんの数分でしたが手を振りあうこともできました。



OB・OGスタッフからは、子どもたちの成長に驚く声が相次ぎました。2年ほどの間に、スタッフの背を超えるほど身長伸びた中学生男子もいます。すでに専門学校や大学入学を決めて、今度はスタッフとして、夢のつばさに参加したいという高校3年生もいます。夢のつばさの学生スタッフになって、オンラインの企画だけで2年間を過ごし、今回、初めて子どもたちに対面で出会った大学生たちも、うれしさひとしおの様子でした。会場への送迎にいらした保護者の皆様にご挨拶もできて、夢のつばさのあたたかいつながりを改めて感じられる機会にもなったようです。「いい活動だなあ。子どもたちともっとたくさん遊びたい」と語る大学生や、「クリスマスの企画を進めるなかで、ご支援くださる多くの方々に支えられていることを改めて感じた」と感想を述べる大学生もありました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



なお、当日参加できなかった子どもたちには、後日、カードとプレゼントを郵送しました。

早くいつもの様なキャンプ活動ができることを願っております。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

連絡先: 事務担当 滝澤公子 TEL&FAX: 03-5978-5362 E-mail: tsubasa@npo-ochanomizu.org